

# 一般質問

2月14日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



杉田ひろし

(自民党)



## 原動機付自転車への区オリジナルナンバープレート導入を

【質 問】 絵本のまち板橋をアピールするため、絵本のまちのロゴを入れた絵本型のナンバープレートなどを作成し、交付しては。

【区 長】 絵本のまちの発信・周知を強化する手法を検討していく中で、オリジナルナンバープレートの交付も含め、広く可能性を追求していく。

## 終活サポート事業を問う

【質 問】 障がいのある方の親亡き後の支援体制など、終活サポート事業の導入を。

【区 長】 障がいのある方の親亡き後に関する事前相談、生前の意向を必要の人に伝える制度といった終活サポート事業のあり方を、他区の動向も踏まえ、今後検討していく。

## 若者相談支援を求めて

【質 問】 若者が気軽に仕事や孤独などの悩みを相談できる窓口を設置しては。

【区 長】 若者に特化した相談窓口について、先進自治体

の取組みを参考に研究する。  
ひきこもり支援を問う

【質 問】 ひきこもり相談支援事業について、当事者へのアプローチや相談窓口の整備など、具体的な対応方法は。

【区 長】 いたばし生活仕事サポートセンターに専用の窓口を設け、支援コーディネーターを配置する予定。来所型の相談のほか、家庭訪問などによる支援を予定している。

【質 問】 ひきこもり支援は、各部署との連携のほか、民間団体を含めたプラットフォームによる取組みを推進する必要があると考える。見解は。

【区 長】 5年度から、支援機関、関係団体などによる「ひきこもり支援調整会議」を開催し、支援方針などについて、専門的な見地から協議を行うなど、連携強化を図っていく。

## 障がい者(児)福祉施設整備事業について問う

【質 問】 板橋キャンパスで予定していた共同生活援助などの4事業について、可能な事業から早期に実現すること



茂野善之

(自民党)



## ハトへのエサやりを問う

【質 問】 4年11月の一般質問では、ハトへのエサやり対策の強化について、検討したいと考えているとの答弁があったが、進展状況は。

【区 長】 定期巡回に加え、区民から連絡があった際に現場確認を行い、エサを与えている人に接触できた場合には、声掛けをしている。しかしながら、解決に至らない事例が多いため、都と連携し、対策の強化を引き続き検討する。

## 青少年健全育成事業を問う

【質 問】 青少年健全育成事業は、コロナ禍の影響により、3年度から委託料が減額され

を強く要望する。区の見解は。  
【区 長】 短期入所と児童発達支援の早期の開設をめざし、個別に進めていく。引き続き、障がいのある方が安心して生活を送るため、必要な生活基盤の確保に向けて取り組む。

## ライフステージに応じた学びについて問う

【質 問】 今後の板橋グリーンカレッジのあり方を検討するうえで、基本的な視点は。

【教育長】 シニア世代に加え、若年層や女性活躍など、区民のニーズを調査し、年齢を問わず、広く学べる環境を提供していく。

## 東武東上線のホームドアの早期整備を求めて

【質 問】 ホームドア整備の進捗状況は。



志村小・志村四中の小中一貫型学校を問う

(自民党)



ているが、感染対策と日常生活の両立に向けて事業のあり方が問われている。委託料の減額についても見直すべき。

【教育長】 5年度に委託料を減額前の水準に増額することを考えており、事業の一層の充実を図っていく。

## 榛名林間学園について問う

【質 問】 6年度末で廃止する方向と聞いている。廃止の経緯と代替施設の検討状況について、見解は。

【教育長】 築50年を迎え老朽化が進んでいることから、施設のあり方の検討を行い、廃止する方向性となった。群馬県や旅行会社の協力のもと、代替施設を探しており、5年度中に協議や検討を行い、方



【区 長】 東武練馬駅、下赤塚駅、成増駅については、7年度までの完成に向けて、調査設計に着手したと聞いている。着実に整備を進めるよう

東武鉄道に働きかけていく。※以上のほか、ごみの投げ捨てやたばこの吸い殻などのポイ捨て対策について質問があった

向性を決定する予定である。  
志村小・志村四中の小中一貫型学校を問う

(自民党)



【質 問】 志村小は、区内においても非常に長い歴史と伝統がある。どのような形で残し、保存していくのか。

【教育長】 保存品は、学校、保護者などの関係者がデジタル化の視点を含めて選定し、展示場所を検討する。象徴となる樹木などは校地内外で移植し、両校が培った歴史と伝統を後世に伝え、郷土愛を育む学校としていく。

## ふるさと納税の返礼品参加について問う

【質 問】 区民税の流出を防ぐため、返礼品の拡充を。

【区 長】 5年度は、区のプロモーションにつながる返礼品をさらに拡大していく予定。引き続き、創意工夫を凝らし、組織や制度設計などの課題を踏まえながら検討していく。

## 未就園児保護者の支援を問う

【質 問】 保育施設の空き定員を活用し、保護者のニーズに応える事業を検討すべき。

【区 長】 小規模保育施設などの一時預かり事業を進めながら、区の保育需要に応じた最適な方策を検討していく。

## 教育の板橋について問う

【質 問】 授業力の高い教員を教科等指導専門官に任命しているが、運用状況や課題は。

【教育長】 4年度は24名を任命し、年間49回の授業を公開



大田ひろし

(公明党)



## 公共施設について問う

【質 問】 区民が魅力を感じ、誇りに思える建築物を今後も残すべき。

【区 長】 周辺環境や区全体を俯瞰する視点を大切にしながら、機能とサービスの向上を図り、安心・安全で魅力あるレガシーとして次世代へ確かに継承していく。

## ふるさと納税の返礼品参加について問う

【質 問】 区民税の流出を防ぐため、返礼品の拡充を。

【区 長】 5年度は、区のプロモーションにつながる返礼品をさらに拡大していく予定。引き続き、創意工夫を凝らし、組織や制度設計などの課題を踏まえながら検討していく。

## 未就園児保護者の支援を問う

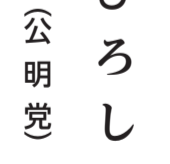
【質 問】 保育施設の空き定員を活用し、保護者のニーズに応える事業を検討すべき。

【区 長】 小規模保育施設などの一時預かり事業を進めながら、区の保育需要に応じた最適な方策を検討していく。

## 教育の板橋について問う

【質 問】 授業力の高い教員を教科等指導専門官に任命しているが、運用状況や課題は。

【教育長】 4年度は24名を任命し、年間49回の授業を公開



大田ひろし

(公明党)



している。参観者の学びを校内へ還元することは、今後のさらなる課題だが、多くの教員が質の高い授業を実践できるように、一層の充実を図っていく。

【質 問】 i・youthのダンスフェスタを予算面でもバックアップすべき。

【教育長】 3、5年度の3か年の予算を確保して大会費用を負担している。6年度以降も安定した運営が行えるよう、財政面も含めて検討する。

## 起業をめざす若者への支援を求めて

【質 問】 スタートアップ支援の拠点を利便性の高い駅周辺などに整備すべき。

【区 長】 産業振興事業計画2025では、駅前拠点整備事業などを踏まえ、産業支援施設の高度化をめざしており、利便性の高いスタートアップ支援の拠点について検討する。

## リスキングについて問う

【質 問】 国による支援策が企業や個人に着実に届くよう、迅速に周知徹底を行うべき。

【区 長】 リスキングを含めた各種支援策については、国からの情報が得られ次第、周知を進めていく。

## いたばしPayについて問う

【質 問】 取扱店舗を拡大すべき。

【区 長】 いたばしPayの持続的な安定運用を確立していくためにも、取扱店舗のさらなる拡充は重要であり、商店街振興組合連合会とも協



デジタル地域通貨「いたばしPay」

## 自転車の安全利用を問う

【質 問】 自転車ネットワーク路線の整備状況と今後の方針は。

【区 長】 関係機関と交通処理や標準規格などの調整を進めており、5年度末には約2km、その後は毎年7kmずつの延伸をめざす計画である。

## 都の太陽光発電パネル設置義務化に対する区の姿勢を問う

【質 問】 ゼロカーボンシネイを表明した区として、どのような姿勢で臨むのか。

【区 長】 区としては、環境アクションポイント事業をさらに充実させていく。今後も、国や都と連携し、適切な役割分担のもと、脱炭素社会に向けた取組みを進めていく。

## 若者や子育て世代の声を生かした公園づくりを

【質 問】 区内6大学との包括協定などを活用し、若者のニーズや意見を聴くべき。

【区 長】 特殊な役割の公園整備では、専門家などに指導や支援を求めることが有効であるため、大学も含めた各協定の活用を推進していく。

※以上のほか、SDGs未来都市計画、積極財政の考え方について質問があった